

～空から災害現場へ～

ぶんかいたいおうがた

分解対応型

えんかく

遠隔バックホウ (1.0m³級)

運転資格：車両系建設機械（整地等）
車両系建設機械（解体）

設営人員：1人

設置時間：約10分（分解なしの場合）



■目的

- ・土砂崩れなどの災害現場で復旧作業を行う機械です。

■特長

- ・バックホウは14ブロックに分解でき、陸路が途絶しても、ヘリコプターで運搬することができます。
- ・安全な場所から遠隔操縦のリモコン（最大約200m）により、危険な箇所でも人が乗らずに作業することができます。

■主な出動実績

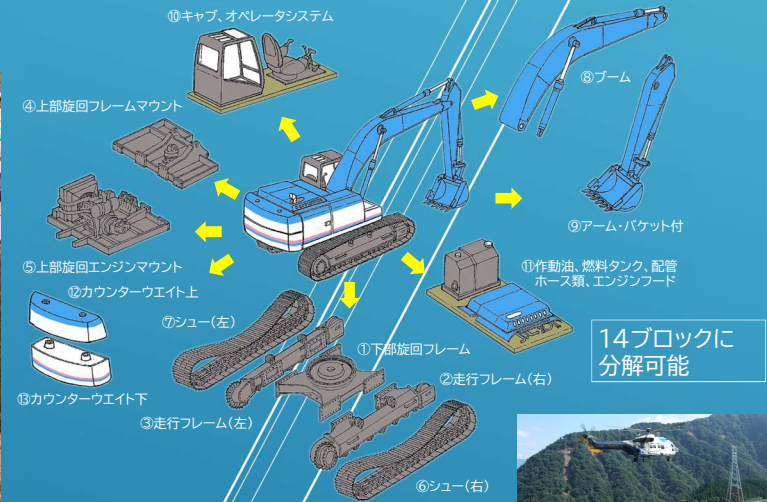
平成28年熊本地震 ※国土交通省九州地方整備局の事例



平成28年4月14日に熊本県熊本地方を震源とするM6.5、最大震度7の地震が発生し(前震)、その後4月16日に同地域を震源とするM7.3、最大震度7の地震が発生(本震)し、甚大な被害が発生しました。

【九州地方整備局HPより写真を引用】

■他にもアタッチメントを交換して様々な作業をすることができます。



14ブロックに分解可能



バックホウの空輸



バックホウの組立



<油圧ブレーカ>
コンクリートなどを破碎する装置



<グラップルソー>
木材などを掴んだり、切断する装置



<把持(はじ)装置>
大型土のうを掴んで設置する装置



国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所

■機械寸法:全長10.2m×全幅2.99m×全高3.0m ■機械総重量:25,800kg[バケット装着時] ■バケット容量:1.0m³(山積み) ■最長操作距離:200m
■分割構造:14ブロック(1ブロック最大質量2.7t以下) ■クレーン能力:2.9t吊り ■付属装置 油圧ブレーカ、グラップル、大型土のう把持装置